



令和4年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和4年8月5日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社
コード番号 2533 URL <https://www.oenon.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 田中 直子

TEL 03-6757-4584

四半期報告書提出予定日 令和4年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年12月期第2四半期の連結業績(令和4年1月1日～令和4年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年12月期第2四半期	38,368	1.0	147		77		744	
3年12月期第2四半期	37,981	0.5	825	1.5	867	5.8	558	66.5

(注) 包括利益 4年12月期第2四半期 607百万円 (%) 3年12月期第2四半期 669百万円 (168.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年12月期第2四半期	12.53	
3年12月期第2四半期	9.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
4年12月期第2四半期	50,269	21,000	37.9
3年12月期	52,280	22,045	38.3

(参考) 自己資本 4年12月期第2四半期 19,049百万円 3年12月期 20,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年12月期				7.00	7.00
4年12月期					
4年12月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

令和4年12月期における1株当たりの配当予想については、7円から5円に修正しております。詳細については本日公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 令和4年12月期の連結業績予想(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,500	3.7	850		800		1,600		26.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	4年12月期2Q	65,586,196 株	3年12月期	65,586,196 株
期末自己株式数	4年12月期2Q	6,153,604 株	3年12月期	6,153,362 株
期中平均株式数(四半期累計)	4年12月期2Q	59,432,743 株	3年12月期2Q	59,433,504 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

○第2四半期決算 参考資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、W I T Hコロナでの経済活動・社会活動の正常化に向けた動きが再開されつつあります。一方で、急激な円安が進行するなど為替相場が急変動しており、更にウクライナ情勢の緊迫化、原材料価格の更なる高騰など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、グループの持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を図るべく、中長期戦略「長期ビジョン100」で掲げた5本の柱を軸とした諸施策を引き続き進めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、38,368百万円（前年同期比1.0%増）となりました。利益面では、原料である粗留アルコールやコーン価格の大幅な高騰などの影響を受け、147百万円の営業損失（前年同期は825百万円の営業利益）、77百万円の経常損失（前年同期は867百万円の経常利益）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は744百万円（前年同期は558百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

販売実績

セグメントの名称	アイテム	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年6月30日) (百万円)	前年同期比 (%)	
酒類	和酒部門	焼酎	17,413	94.1
		チューハイ	6,537	113.0
		清酒	1,627	105.0
		合成清酒	831	98.1
		販売用アルコール	5,025	108.6
		みりん	290	86.1
		31,726	100.2	
	洋酒部門	2,219	106.7	
その他の部門	283	103.0		
	34,229	100.6		
加工用澱粉		2,053	110.2	
酵素医薬品		1,857	98.2	
不動産		190	111.3	
その他		37	108.0	
合 計		38,368	101.0	

【酒類事業】

酒類事業におきましては、国内の人口減少や少子高齢化、飲酒機会の減少により市場の伸張が期待しにくく、価格競争も激化しております。飲用シーン別においては、家飲みの定着により、チューハイなどのR T D分野に加えて、居酒屋の味を自宅で自分好みに楽しむことができる“チューハイの素”と呼ばれる、割って飲む希釈タイプのリキュール（R T S）が伸張しております。このような環境の下、売上高は34,229百万円（前年同期比0.6%増）となりました。また、利益面につきましては、446百万円の営業損失（前年同期は296百万円の営業利益）となりました。

和酒部門のうち焼酎につきましては、本格焼酎の「博多の華」シリーズや、しそ焼酎「鍛高譚」が好調に推移したものの、P B商品等の減少により、売上高は減少いたしました。同カテゴリーでは、しそ焼酎「鍛高譚」の写真投稿で、同商品1本とオリジナル金のタンブラーのセットが当たる、T w i t t e r限定「金のタンタカを探せキャンペーン」を実施するなど、さらなるファン層の獲得を目指した施策を実施しております。

チューハイなどのR T D分野につきましては、P B商品が好調に推移し、売上高は増加いたしました。同カテゴリーでは、日本各地のご当地素材を使用した「N I P P O N P R E M I U M」シリーズより、国産ネーブルオレンジの収穫量日本一を誇る広島県産ネーブルオレンジ果汁を使用した「広島県産ネーブルオレンジ」、J A全農の商品ブランド「ニッポンエール」とコラボレーションし、東京都の島嶼部である伊豆諸島の八丈島で栽培された島レモン「八丈フルーツレモン」の果汁を使用した「八丈フルーツレモン」を新たに発売し、ラインアップを強化しております。

清酒につきましては、市場の低迷が続いておりますが、「福德長 米だけのす〜っと飲めてやさしいお酒 純米吟醸酒バック」やPB商品が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

販売用アルコールにつきましては、消毒用アルコール等の原料となる工業用アルコール及び酒類原料用アルコールが好調に推移し、売上高は増加いたしました。

洋酒部門につきましては、炭酸水で割るだけで手軽にレモンサワーを楽しむことができる、RTSの「耐ハイ専科レモンサワーの素」や「ウイスキー 香薫(こうくん)」が好調に推移し、売上高は増加いたしました。同カテゴリーでは、駄菓子の「すもも漬け」の味わいを再現した「昔懐かしいすももサワーの素」をレトロな味わいや雰囲気を楽しみたいお客様のニーズにお応えすべく、発売しております。

【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業につきましては、原料であるコーン価格の大幅な高騰に対応するべく、販売価格の改定に取り組んだことにより、売上高は2,053百万円(前年同期比10.2%増)となりました。しかしながら、急激な原価上昇に追いつかず、149百万円の営業損失(前年同期は2百万円の営業利益)となりました。

【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業につきましては、酵素部門における海外での販売が好調に推移したものの、原薬及び診断薬が減少したため、売上高は1,857百万円(前年同期比1.8%減)となりました。また、原料価格及びエネルギー価格の高騰等による原価の上昇や製品構成の影響により、営業利益は338百万円(前年同期比21.5%減)となりました。

【不動産事業】

不動産事業につきましては、売上高は190百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は102百万円(前年同期比15.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、50,269百万円となり、有形固定資産は増加したものの、売上債権が減少したため、前連結会計年度末と比較し2,011百万円の減少となりました。

負債につきましては、29,269百万円となり、短期借入金は増加したものの、未払酒税や未払消費税が減少したため、前連結会計年度末と比較して965百万円の減少となりました。

純資産につきましては、21,000百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,045百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は839百万円となり、前連結会計年度末と比較して146百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおける資金の減少額は、2,628百万円(前年同期比229百万円増)となりました。これは主に、売上債権の減少額2,939百万円、減価償却費846百万円等がありましたものの、未払酒税の減少額3,871百万円、未払消費税等の減少額656百万円等を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、固定資産の取得による支出1,868百万円等がありましたので、1,922百万円(前年同期比551百万円増)の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、配当金の支払額437百万円、長期借入金の返済による支出375百万円等がありましたものの、短期借入金の増加額5,250百万円等がありましたので、4,405百万円(前年同期比796百万円減)の資金増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、令和4年2月10日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「繰延税金資産の取崩し及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和3年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	990	844
受取手形及び売掛金	16,295	13,355
商品及び製品	5,710	6,698
仕掛品	200	242
原材料及び貯蔵品	1,955	1,370
その他	463	558
貸倒引当金	△18	△15
流動資産合計	25,596	23,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,053	26,061
減価償却累計額	△19,282	△19,492
建物及び構築物（純額）	6,770	6,569
機械装置及び運搬具	36,076	36,247
減価償却累計額	△30,192	△30,640
機械装置及び運搬具（純額）	5,883	5,607
土地	9,620	9,628
建設仮勘定	1,277	2,460
その他	1,857	1,844
減価償却累計額	△1,646	△1,638
その他（純額）	210	205
有形固定資産合計	23,763	24,471
無形固定資産		
のれん	7	6
その他	291	538
無形固定資産合計	298	544
投資その他の資産		
投資有価証券	1,404	1,496
繰延税金資産	891	380
退職給付に係る資産	17	20
その他	313	304
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,622	2,198
固定資産合計	26,684	27,213
資産合計	52,280	50,269

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和3年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,699	4,380
電子記録債務	1,624	1,401
短期借入金	3,700	8,575
未払金	4,400	3,852
未払酒税	8,726	4,854
未払法人税等	147	146
賞与引当金	60	60
役員賞与引当金	17	8
株主優待引当金	18	-
設備関係支払手形	159	2
設備関係電子記録債務	76	127
その他	1,720	952
流動負債合計	25,350	24,362
固定負債		
長期預り金	3,140	3,000
繰延税金負債	164	311
役員株式給付引当金	101	106
退職給付に係る負債	1,282	1,314
資産除去債務	53	53
その他	142	119
固定負債合計	4,884	4,906
負債合計	30,235	29,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,601	5,602
利益剰余金	8,563	7,385
自己株式	△1,578	△1,578
株主資本合計	19,532	18,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	354	416
繰延ヘッジ損益	53	208
退職給付に係る調整累計額	71	68
その他の包括利益累計額合計	480	693
非支配株主持分	2,032	1,950
純資産合計	22,045	21,000
負債純資産合計	52,280	50,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年6月30日)
売上高	37,981	38,368
売上原価	31,527	33,446
売上総利益	6,454	4,922
販売費及び一般管理費	5,629	5,069
営業利益又は営業損失(△)	825	△147
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	23
受取賃貸料	35	32
為替差益	12	46
雑収入	25	27
営業外収益合計	93	129
営業外費用		
支払利息	28	34
操業休止等経費	13	12
雑損失	9	11
営業外費用合計	51	59
経常利益又は経常損失(△)	867	△77
特別利益		
その他	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除売却損	35	18
製品回収関連損失	-	86
投資有価証券評価損	44	-
その他	6	0
特別損失合計	87	105
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	779	△182
法人税等	216	639
四半期純利益又は四半期純損失(△)	563	△821
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5	△76
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	558	△744

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	563	△821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65	62
繰延ヘッジ損益	45	155
退職給付に係る調整額	△4	△3
その他の包括利益合計	105	213
四半期包括利益	669	△607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	663	△531
非支配株主に係る四半期包括利益	6	△76

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	779	△182
減価償却費	845	846
のれん償却額	1	1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12	22
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20	△3
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20	△9
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	15	4
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△18	△18
受取利息及び受取配当金	△20	△23
支払利息	28	34
固定資産除売却損	35	18
投資有価証券評価損	44	—
製品回収関連損失	—	86
売上債権の増減額(△は増加)	2,458	2,939
棚卸資産の増減額(△は増加)	△726	△445
仕入債務の増減額(△は減少)	△481	△541
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,197	△656
未払酒税の増減額(△は減少)	△3,631	△3,871
その他	△396	△786
小計	△2,292	△2,584
利息及び配当金の受取額	20	23
利息の支払額	△44	△53
事業再編による支払額	—	△90
製品回収関連損失の支払額	—	△77
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△541	153
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,857	△2,628
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△2,233	△1,868
固定資産の除却による支出	△213	△31
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	△24	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,474	△1,922
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,050	5,250
長期借入金の返済による支出	△375	△375
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△38	△26
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	△419	△437
非支配株主への配当金の支払額	△12	△3
その他	△3	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,201	4,405
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△131	△146
現金及び現金同等物の期首残高	910	986
現金及び現金同等物の四半期末残高	779	839

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来、販売費及び一般管理費として計上していた一部の費用について、第1四半期連結会計期間より顧客に支払われる対価として、売上高から控除しております。また、従来、主に船積時に収益を認識していた輸出取引について、財又はサービスを顧客に移転し、当該履行義務が充足された時点で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が144百万円減少し、売上原価は5百万円増加し、販売費及び一般管理費は149百万円減少しておりますが、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高は13百万円減少しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 令和2年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 令和元年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 令和元年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	34,019	1,863	1,892	171	37,947	34	—	37,981
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	—	—	—	1	—	△1	—
計	34,021	1,863	1,892	171	37,948	34	△1	37,981
セグメント利益	296	2	431	88	819	6	—	825

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。
 2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和4年1月1日 至 令和4年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	34,229	2,053	1,857	190	38,331	37	—	38,368
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	—	—	—	0	—	△0	—
計	34,230	2,053	1,857	190	38,332	37	△0	38,368
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△446	△149	338	102	△154	7	—	△147

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。
 2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。
 3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「酒類」の売上高は113百万円減少、「加工用澱粉」の売上高は30百万円減少しておりますが、セグメント利益に与える影響はありません。

令和4年12月期 第2四半期決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. 要約連結損益計算書（当四半期）
3. セグメント別売上高
4. 利益増減要因
5. 要約連結貸借対照表
6. 連結業績予想
7. 予想売上高

オエノンホールディングス株式会社

令和4年8月5日

1. 要約連結損益計算書

単位: 百万円

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和3年 1月 1日 至 令和3年 6月30日	自 令和4年 1月 1日 至 令和4年 6月30日		
酒類事業	34,019	34,229	209	100.6
加工用澱粉事業	1,863	2,053	189	110.2
酵素医薬品事業	1,892	1,857	△ 34	98.2
不動産事業その他	205	227	22	110.8
売上高	37,981	38,368	386	101.0
売上原価	31,527	33,446	1,919	106.1
売上総利益	6,454	4,922	△ 1,532	76.3
販売費及び一般管理費	5,629	5,069	△ 559	90.1
酒類事業	296	△ 446	△ 742	-
加工用澱粉事業	2	△ 149	△ 152	-
酵素医薬品事業	431	338	△ 92	78.5
不動産事業その他	94	109	14	115.7
営業利益	825	△ 147	△ 972	-
営業外収益	93	129	35	137.6
営業外費用	51	59	7	114.3
経常利益	867	△ 77	△ 944	-
特別利益	0	-	△ 0	-
特別損失	87	105	17	120.1
税金等調整前四半期純利益	779	△ 182	△ 962	-
法人税等合計	216	639	422	295.7
四半期純利益	563	△ 821	△ 1,385	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	△ 76	△ 82	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	558	△ 744	△ 1,302	-
1株当たり四半期純利益(円)	9.40	△ 12.53	△ 21.93	-
設備投資額	1,862	1,489	△ 372	80.0

※当社グループは令和4年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しているため、上記の連結業績(当第2四半期連結累計期間)は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。なお、売上高に対する、当該会計基準等を適用することによる影響額は軽微であります。(売上高:酒類△113百万円、加工用澱粉△30百万円)

2. 要約連結損益計算書(当四半期)

単位:百万円

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和3年 4月 1日 至 令和3年 6月30日	自 令和4年 4月 1日 至 令和4年 6月30日		
酒類事業	18,337	18,810	473	102.6
加工用澱粉事業	953	1,113	159	116.8
酵素医薬品事業	949	855	△ 94	90.0
不動産事業その他	104	115	11	111.1
売上高	20,345	20,895	549	102.7
売上原価	16,859	18,281	1,421	108.4
売上総利益	3,486	2,614	△ 871	75.0
販売費及び一般管理費	2,913	2,623	△ 290	90.0
酒類事業	360	△ 145	△ 505	-
加工用澱粉事業	△ 6	△ 81	△ 75	-
酵素医薬品事業	175	167	△ 8	95.2
不動産事業その他	42	50	7	117.8
営業利益	572	△ 8	△ 581	-
営業外収益	46	75	28	160.5
営業外費用	28	31	2	110.4
経常利益	590	35	△ 555	5.9
特別利益	-	-	-	-
特別損失	53	7	△ 45	14.4
税金等調整前四半期純利益	537	27	△ 509	5.1
法人税等合計	136	668	531	490.2
四半期純利益	400	△ 640	△ 1,041	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	△ 40	△ 42	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	398	△ 600	△ 998	-
1株当たり四半期純利益(円)	6.71	△ 10.10	△ 16.81	-

3. セグメント別売上高

単位：百万円

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和3年 1月 1日 至 令和3年 6月30日	自 令和4年 1月 1日 至 令和4年 6月30日		
焼酎	18,511	17,413	△ 1,097	94.1
（ 甲 類 焼 酎 ）	(6,773)	(6,344)	(△ 429)	(93.7)
（ 乙 類 焼 酎 ）	(11,738)	(11,069)	(△ 668)	(94.3)
チ ュ ー ハ イ	5,787	6,537	750	113.0
清 酒	1,550	1,627	77	105.0
合 成 清 酒	847	831	△ 16	98.1
販 売 用 ア ル コ ー ル	4,628	5,025	396	108.6
み り ん	337	290	△ 46	86.1
洋 酒	2,080	2,219	139	106.7
そ の 他	275	283	8	103.0
酒 類 計	34,019	34,229	209	100.6
加 工 用 澱 粉	1,863	2,053	189	110.2
酵 素 医 薬 品	1,892	1,857	△ 34	98.2
不 動 産	171	190	19	111.3
そ の 他	34	37	2	108.0
合 計	37,981	38,368	386	101.0

4. 利益増減要因

単位:百万円

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	△ 742	売上高増加による総利益増+20 原材料コストの上昇による原価増△1,560 電力費など製造経費の増△150 販売促進費など販管費の減+490 製品構成の影響等+458
加工用澱粉事業	△ 152	原料(コーン)価格の高騰
酵素医薬品事業	△ 92	原材料コストの上昇および製品構成による原価増
不動産事業その他	14	
営業利益	△ 972	
営業外収益	35	為替差益の増
営業外費用	△ 7	
経常利益	△ 944	
特別利益	△ 0	
特別損失	△ 17	製品回収関連損失の増
税金等調整前四半期純利益	△ 962	
法人税等	△ 422	
四半期純利益	△ 1,385	
非支配株主に帰属する四半期純利益	82	
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 1,302	

5. 要約連結貸借対照表

単位:百万円

	前連結会計年度 令和3年12月31日	当第2四半期 連結会計期間 令和4年6月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	990	844	△ 146	85.2	
受取手形及び売掛金	16,295	13,355	△ 2,939	82.0	季節要因による売上高減
たな卸資産	7,866	8,311	445	105.7	
その他	463	558	95	120.6	
貸倒引当金	△ 18	△ 15	3	-	
流動資産合計	25,596	23,055	△ 2,541	90.1	
建物	5,064	4,914	△ 150	97.0	
土地	9,620	9,628	8	100.1	
その他	9,077	9,928	850	109.4	銀座ビル跡地開発建設仮勘定の増
有形固定資産計	23,763	24,471	708	103.0	
無形固定資産	298	544	246	182.4	
投資有価証券	1,404	1,496	91	106.5	
長期前払費用	105	99	△ 6	93.8	
繰延税金資産	891	380	△ 511	42.7	当四半期で一部取り崩しのため減
その他	225	226	1	100.5	
貸倒引当金	△ 5	△ 5	-	-	
投資その他の資産計	2,622	2,198	△ 424	83.8	
固定資産合計	26,684	27,213	529	102.0	
資産合計	52,280	50,269	△ 2,011	96.2	

単位：百万円

	前連結会計年度 令和3年12月31日	当第2四半期 連結会計期間 令和4年6月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,324	5,782	△ 541	91.4	
短期借入金	3,700	8,575	4,875	231.8	
未払金	4,400	3,852	△ 547	87.6	
未払酒税	8,726	4,854	△ 3,871	55.6	季節要因による売上高減
その他	2,199	1,297	△ 901	59.0	未払消費税、未払法人税の減
流動負債合計	25,350	24,362	△ 987	96.1	
固定負債合計	4,884	4,906	21	100.4	
負債合計	30,235	29,269	△ 965	96.8	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,601	5,602	0	100.0	
利益剰余金	8,563	7,385	△ 1,177	86.2	
自己株式	△ 1,578	△ 1,578	△ 0	-	
株主資本合計	19,532	18,356	△ 1,176	94.0	
その他有価証券評価差額金	354	416	62	117.5	
繰延ヘッジ損益	53	208	155	388.0	
退職給付に係る調整累計額	71	68	△ 3	94.9	
その他の包括利益累計額合計	480	693	213	144.4	
非支配株主持分	2,032	1,950	△ 82	96.0	
純資産合計	22,045	21,000	△ 1,045	95.3	
負債純資産合計	52,280	50,269	△ 2,011	96.2	

自己資本比率(%)	38.3	37.9	△ 0.4		
-----------	------	------	-------	--	--

6. 連結業績予想

単位:百万円

	前連結会計年度 自 令和 3年 1月 1日 至 令和 3年12月31日	当連結会計年度 自 令和 4年 1月 1日 至 令和 4年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	71,099	73,101	2,002	102.8
加工用澱粉事業	3,810	4,350	540	114.2
酵素医薬品事業	3,277	3,509	231	107.1
不動産事業その他	431	538	106	124.7
売上高	78,618	81,500	2,881	103.7
売上原価	65,967	71,603	5,636	108.5
売上総利益	12,651	9,896	△ 2,754	78.2
販売費及び一般管理費	11,444	10,746	△ 697	93.9
酒類事業	499	△ 1,231	△ 1,730	-
加工用澱粉事業	△ 59	△ 370	△ 310	-
酵素医薬品事業	566	516	△ 50	91.1
不動産事業その他	200	235	34	117.1
営業利益	1,207	△ 850	△ 2,057	-
営業外損益	60	50	△ 10	82.8
経常利益	1,267	△ 800	△ 2,067	-
特別損益	△ 802	△ 200	602	-
税金等調整前当期純利益	464	△ 1,000	△ 1,464	-
法人税等合計	203	784	580	385.4
当期純利益	261	△ 1,784	△ 2,045	-
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 37	△ 184	△ 146	-
親会社株主に帰属する当期純利益	299	△ 1,600	△ 1,899	-

※当社グループは令和4年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想(当連結会計年度)は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。なお、売上高に対する、当該会計基準等を適用することによる影響額は軽微であります。

7. 予想売上高

単位:百万円

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和 3年 1月 1日 至 令和 3年12月31日	自 令和 4年 1月 1日 至 令和 4年12月31日		
焼 酎	38,369	37,326	△ 1,043	97.3
(甲 類 焼 酎)	(13,541)	(13,055)	(△ 486)	(96.4)
(乙 類 焼 酎)	(24,828)	(24,270)	(△ 557)	(97.8)
チ ュ ー ハ イ	12,482	13,450	967	107.7
清 酒	3,320	3,461	141	104.3
合 成 清 酒	1,885	1,827	△ 57	96.9
販 売 用 ア ル コ ー ル	9,302	11,111	1,808	119.4
み り ん	705	568	△ 137	80.5
洋 酒	4,437	4,787	349	107.9
そ の 他	594	568	△ 26	95.6
酒 類 計	71,099	73,101	2,002	102.8
加 工 用 澱 粉	3,810	4,350	540	114.2
酵 素 医 薬 品	3,277	3,509	231	107.1
不 動 産	360	461	101	128.2
そ の 他	71	76	4	106.7
合 計	78,618	81,500	2,881	103.7

※当社グループは令和4年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想(当連結会計年度)は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

なお、売上高に対する、当該会計基準等を適用することによる影響額は軽微であります。